

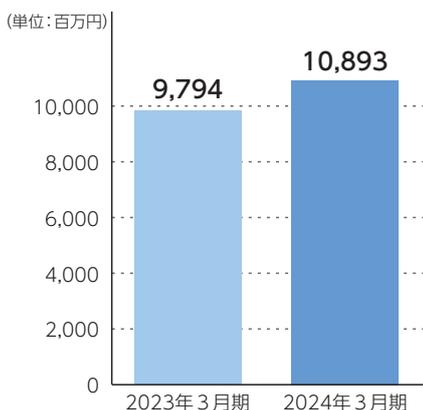
# 2023年度 業績の概要

※計数はすべて単体ベースで表示しています。

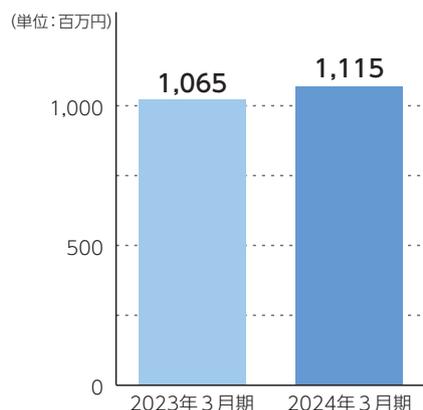
## 利益の状況

原材料価格や物価の高騰など厳しい経済環境が続く中、これまでどおりお客さま本位の活動に努め、地域の多くの方々に金融機能・サービスをご利用いただいた結果、貸出金利息を中心に資金運用収益が増加したことなどから、増収増益の決算となりました。

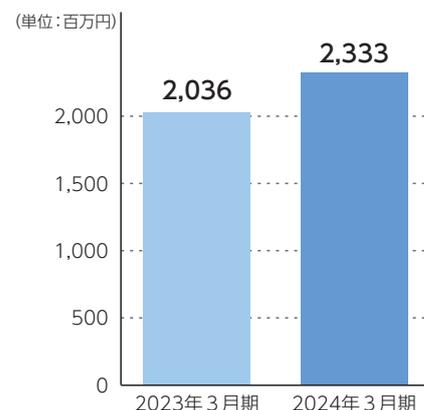
### ◆ 経常収益



### ◆ 当期純利益



### ◆ コア業務純益



#### 【用語のご説明】

##### ●業務純益

預金積金利息などの資金調達費用をはじめとする業務費用から金銭の信託運用見合費用を控除した額を、貸出金利息などの資金運用収益をはじめとする業務収益から差し引いて算出するもので、信用金庫の主な業務によって得た純利益を表しています。

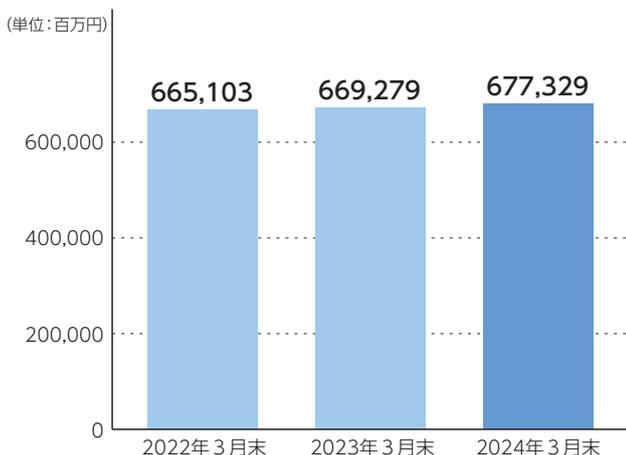
##### ●コア業務純益

業務純益に一般貸倒引当金繰入額を加え、国債等債券5勘定戻(国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却)を控除したもので、金融機関本来の事業活動のみの利益を表しています。

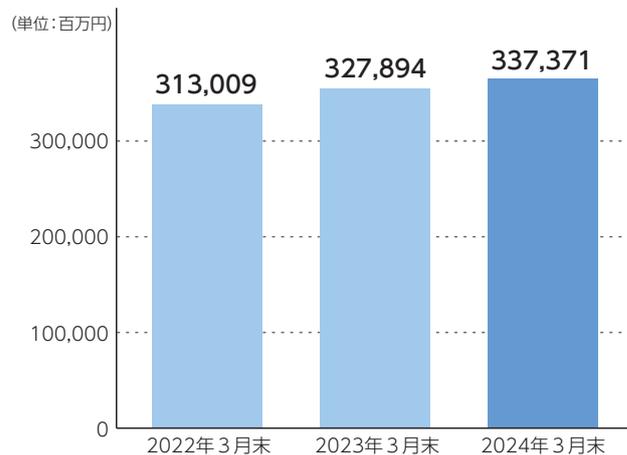
## 預金・貸出金の状況

お客さまとの日々の対話を大切に、それぞれのお客さまのニーズや課題に適したご提案に努めた結果、預金・貸出金ともに順調に増加しました。3月末の預金残高は前期末比80億円増加の6,773億円、貸出金残高は前期末比94億円増加の3,373億円となりました。

### ◆ 預金・積金残高



### ◆ 貸出金残高

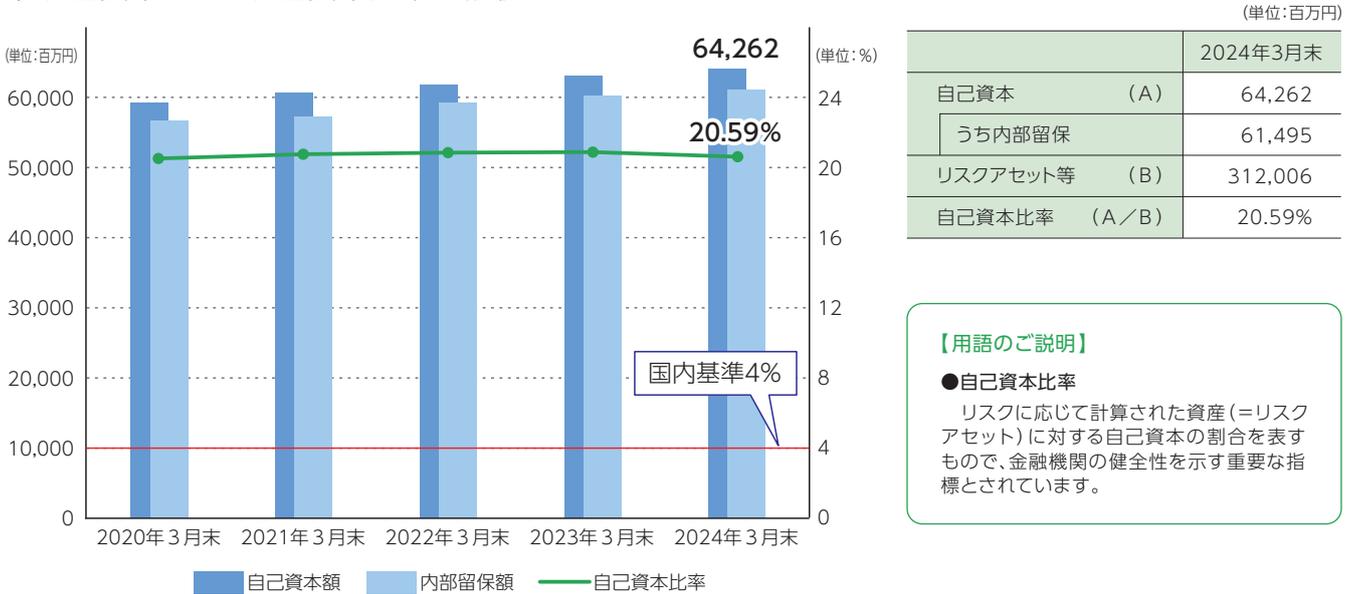




## 自己資本の状況

当金庫の自己資本は、大部分がこれまでの利益の積み上げによる内部留保で構成されています。3月末の自己資本額は642億円、自己資本比率は20.59%となり、国内基準(4%)を上回る高い水準を維持しています。

### ◆ 自己資本および自己資本比率の推移

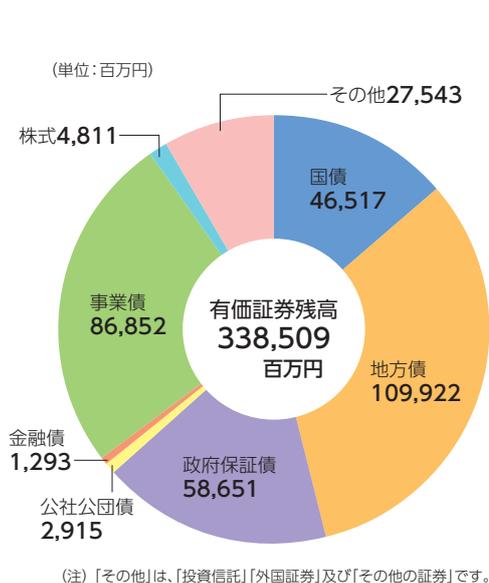


## 有価証券の状況

有価証券運用については、安全性・流動性を考慮し、国債・地方債・政府保証債など債券中心の運用を行っており、長期保有による安定した利息収入の獲得を目指しています。

市場金利が上昇する中、債券の評価損が拡大していますが、上記のとおり自己資本は充実しており、経営の安全性に問題ありません。

### ◆ 有価証券残高構成



### ◆ 有価証券の時価等情報

#### ■ その他有価証券

(単位:百万円)

区分	貸借対照表計上額	取得原価(償却原価)	評価差額
株式	4,164	1,839	2,325
債券	306,097	326,107	△20,009
国債	46,517	53,376	△6,858
地方債	109,922	113,910	△3,987
政府保証債	58,651	65,377	△6,725
公社公団債	2,915	3,000	△84
金融債	1,293	1,300	△6
事業債	86,796	89,143	△2,347
その他	27,502	28,872	△1,370
合計	337,764	356,819	△19,054

(注) 1. 貸借対照表計上額は、3月末日における市場価格等に基づいています。  
 2. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は含まれません。

#### ■ 満期保有目的の債券

(単位:百万円)

区分	貸借対照表計上額	時価	評価差額
債券(社債)	56	56	△0
合計	56	56	△0

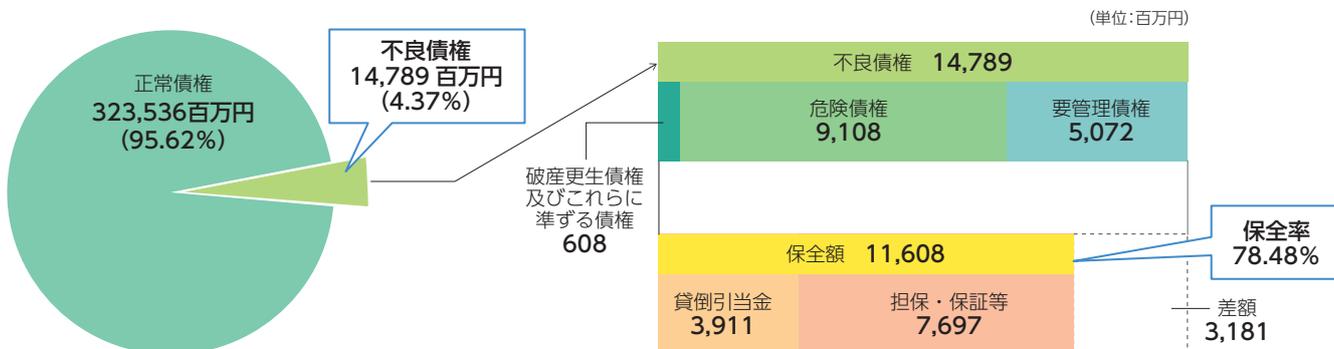
(注) 時価は、3月末日における市場価格等に基づいています。

# 2023年度 業績の概要

※計数はすべて単体ベースで表示しています。

## 金融再生法に基づく開示債権の状況

3月末の金融再生法に基づく開示債権額（不良債権額）は14,789百万円、不良債権比率は4.37%となりました。不良債権に対しては、担保や保証、貸倒引当金で78.48%をカバーしています。



### 【用語のご説明】

#### ●破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の中立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

#### ●危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態・経営成績が悪化し、契約に従った債権元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

#### ●要管理債権

「3か月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。

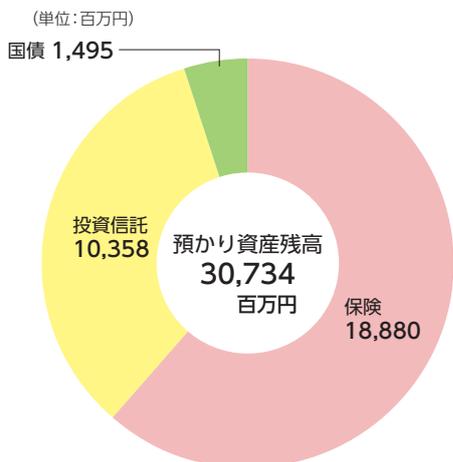
#### ●正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

## 預かり資産の状況

資産状況や運用方針に合わせた商品をご紹介する活動に努めています。

### ◆ 預かり資産残高構成



(注) 1. 「投資信託」は、3月末日における市場価格等に基づいています。  
2. 「保険」は、「年金保険」「終身保険」「学資保険」です。



### お客さま本位の業務運営に関する取組み方針

1. お客さま本位の業務運営を徹底してまいります。
2. お客さまにとって最適な商品やサービスを提供してまいります。
3. 金融商品やサービスに関する情報について、丁寧に分かりやすく説明してまいります。
4. お客さま本位の業務運営を徹底するための態勢整備に努めます。

地域の皆さまの豊かな暮らしの実現に向けて、様々な活動を行っています！



地元ラジオに出演し新NISA制度について説明



## 財務諸表・主要な経営指標の推移

### ◆ 第74期貸借対照表

(2024年3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
( 資 産 の 部 )		( 負 債 の 部 )	
現金	4,412	預金積金	677,329
預け金	67,789	譲渡性預金	8,590
コールローン	75	借入金	6,566
有価証券	338,509	コールマネー	18,934
貸出金	337,371	その他負債	1,934
外国為替	124	退職給付引当金	1,174
その他資産	5,357	その他の引当金等	351
有形固定資産	10,785	再評価に係る繰延税金負債	670
無形固定資産	167	債務保証	606
繰延税金資産	6,020	負債の部合計	716,157
債務保証見返	606	( 純 資 産 の 部 )	
貸倒引当金	△ 4,975	出資金	1,488
		利益剰余金	61,552
		処分未済持分	△ 49
		会員勘定合計	62,991
		その他有価証券評価差額金	△ 13,784
		土地再評価差額金	879
		評価・換算差額等合計	△ 12,904
		純資産の部合計	50,086
資産の部合計	766,243	負債及び純資産の部合計	766,243

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

### ◆ 第74期損益計算書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	金 額
経常収益	10,893,557
資金運用収益	9,491,262
役員取引等収益	623,095
その他業務収益	526,908
その他経常収益	252,290
経常費用	8,854,687
資金調達費用	963,993
役員取引等費用	865,421
その他業務費用	259,459
経費	5,863,693
その他経常費用	902,118
経常利益	2,038,870
特別利益	71,226
特別損失	212,208
税引前当期純利益	1,897,888
法人税等合計	782,197
当期純利益	1,115,691

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

### ◆ 主要な経営指標の推移

(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
預金積金残高	665,103	669,279	677,329
貸出金残高	313,009	327,894	337,371
経常収益	9,362	9,794	10,893
コア業務純益	1,683	2,036	2,333
経常利益	1,748	1,929	2,038
当期純利益	1,252	1,065	1,115
出資金	1,553	1,522	1,488
出資に対する配当金 (出資1口当り):(円)	20	20	20
自己資本比率	20.82%	20.85%	20.59%
不良債権比率	3.77%	3.75%	4.37%